

御面と太鼓の祭典

来訪神と

令和5年 10/29(日)

時間 開演 13:30 (開場 13:00)

会場 輪島市文化会館 大ホール

石川県輪島市河井町20番1-1 TEL0767-22-7666

入場無料
全席自由

9月21日より

入場整理券配布

- 入場整理券取扱場所
輪島市文化会館、門前総合支所、市内公民館(18館)
※入場整理券1枚につきお1人様ご入場いただけます。
※入場整理券は無くなり次第終了、お1人様につき5枚まで。
※市外の方には郵送も可。

出演団体

- 八坂神社彌榮太鼓保存会 (石川県)
- 勝山左義長ばやし保存会 (福井県)
- 住吉神社御神事太鼓保存会 (石川県)
- 佐渡鬼太鼓 (新潟県)
- 男鹿半島 なまはげ太鼓 恩荷 (秋田県)
- 御陣乗太鼓保存会 (石川県)
- 志多ら (愛知県)

■主催/文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、輪島市、輪島市教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、

いしかわ百万石文化祭2023輪島市実行委員会、(公社)石川県太鼓連盟

■後援/(公財)日本太鼓財団、(一社)石川県芸術文化協会、北國新聞社、浅野太鼓楽器店

■問い合わせ/いしかわ百万石文化祭2023輪島市実行委員会(輪島市教育委員会文化課 TEL 0768-22-7666)

来訪神と御面太鼓の祭典

全国各地で様々な歴史や地域文化と共に育まれた「太鼓」は、躍動感あふれる鼓動で人々を魅了してきました。今回、無形文化遺産「来訪神仮面・仮装の神々」や日本遺産「灯り舞う半島能登～熱狂のキリコ祭り」、地域の文化財の中から選抜された御面(みおも)を付ける太鼓団体による演奏会を開催し、文化遺産と太鼓の魅力を全国へ発信します。

当日スケジュール

●オープニング映像 (13:30 ~ 13:35)

●歓迎アトラクション (13:45 ~ 14:00)

- ① 輪島まだら保存会 (輪島市文化協会推薦)
- ② 輪島まつり囃子 (市内太鼓チームによるキリコ太鼓の演奏)
- ③ 門前とどろ保存会

●ステージ (14:00 ~ 16:10)

- ① 八坂神社彌榮太鼓保存会
- ② 勝山左義長ばやし保存会
- ③ 住吉神社御神事太鼓保存会
- ④ 佐渡鬼太鼓
- ⑤ 秋田なまはげ太鼓 恩荷
- ⑥ 御陣乗太鼓保存会
- ⑦ 志多ら

※地元太鼓チームによる会場前（歓迎太鼓）と客だし時（送り太鼓）にて観客を歓迎する。

いしかわ
百万石
文化祭
2023

ゲスト団体

○勝山左義長ばやし保存会 (福井県勝山市)



2月の最終土日に行われる福井県の無形民俗文化財である「勝山左義長」で披露される太鼓で、「おかめ」や「ひょっこ」の御面をかぶりおどけたしぐさで観客を楽しませることが特徴的な太鼓である。

○佐渡鬼太鼓 (新潟県佐渡市)



4月15日を中心とする「春祭り」と9月15日を中心とする「秋祭り」に佐渡島各集落で行われる、鬼や獅子、笛、太鼓がチームとなり五穀豊穣、大漁、家内安全などを祈りながら集落の家々を回って悪魔を払う神事として行われている。

○秋田なまはげ太鼓 恩荷 (秋田県男鹿市)



毎年春から秋にかけて男鹿温泉郷で活動している。男鹿半島の風土や自然をモチーフとした楽曲でなまはげの迫力と和太鼓の勇壮さを特徴的である。

○志多ら (愛知県北設楽郡東栄町)



国の重要無形民俗文化財の「花祭り」を住人として継承し、「人を結び、いのち奏でて、伝統を舞う」をメッセージとともに、日本全国、そして世界で活躍している。「花祭り」での鬼の面をつけた舞と太鼓の競演が見どころである。

県内出演団体

○御陣乗太鼓保存会(輪島市)



写真提供:石川県観光連盟

1577(天正5)年、上杉謙信の軍勢が名舟村に攻め込んだ時に、樹の皮で仮面を作り、海藻を髪に見立て化け物の集団となって太鼓を打ち鳴らしながら奇襲を仕掛け、上杉勢を退却させたと伝えられています。(石川県無形民俗文化財)

○住吉神社御神事太鼓保存会(輪島市)



住吉神社(輪島市鳳至町)に古より伝えられている神楽太鼓である。神殿に祭られた奇面を付け神の下部と化した者々が、能登国の万民の心を支え、天に、地上に、水に古より打ち伝えられている太鼓である。(輪島市指定無形民俗文化財)

○八坂神社彌榮太鼓保存会(能登町)



八坂神社(能登町宇出津)1644年(寛文4年)に疫病が流行した際に、京都の八坂神社から御神靈をお迎えし、太鼓を打ち鳴らし、無病息災を祈願したことが起源となり今に伝えられている。(能登町指定無形民俗文化財)